

## 若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

### 平成 29 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告 および 第 56 回若手会員の会 運営委員会開催報告

若手会員の会運営委員会 委員 北野 萌一 (物質・材料研究機構)  
廣畑 幹人 (名古屋大学)

Report of WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2017  
and minutes of the 56th meeting of the WELNET steering committee

#### 1. 平成 29 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

4月20日(木)、平成29年度春季全国大会において若手会員の会イブニングフォーラムが開催されました。今回は「企業における溶接研究開発と実機適用事例」について、企業の若手・中堅研究者およびエンジニアの方々にご講演頂きました。

プログラム:

17:00 開会の挨拶 溶接学会若手会員の会委員長

東北大学 藤井 啓道 氏

17:05 講演(司会 大阪大学 小椋 智 氏)

「高電流埋れアークを用いた厚板高能率溶接法(D-Arc)の開発」

(株)ダイヘン 馬場 勇人 氏

「都市ガス供給設備における溶接部の構造強度評価」

東京ガス(株) 瀬古 祐介 氏

「日産でのカバー部品へのリモート溶接適用」

日産自動車(株) 樽井 大志 氏

「レーザークリーニングの応用技術開発と今後の展開」

(株)IHI 検査計測 大阿見 尚弥 氏

藤井委員長のご挨拶に続き、(株)ダイヘン 馬場 勇人 氏より「高電流埋れアークを用いた厚板高能率溶接法(D-Arc)の開発」のタイトルでご講演頂きました。厚板の高能率溶接法であるD-Arc溶接法の概要やアーク安定化制御法、実機を想定した継手への適用事例についてご紹介

頂きました。次に東京ガス(株)瀬古 祐介 氏より「都市ガス供給設備における溶接部の構造強度評価」のタイトルでご講演頂きました。都市ガス供給設備の構造強度評価・維持管理における溶接部の取り扱いに関する考え方および実部材設計への適用についてご紹介頂きました。さらに日産自動車(株)樽井 大志 氏より「日産でのカバー部品へのリモート溶接適用」のタイトルでご講演頂きました。自動車製作へのリモートレーザ溶接適用の歴史やメリット、実機適用の際の品質保証法、プロセスインラインモニタリングシステムについてご紹介頂きました。最後に、(株)IHI 検査計測 大阿見 尚弥 氏より「レーザークリーニングの応用技術開発と今後の展開」のタイトルでご講演頂きました。レーザを利用した表面クリーニング法と可搬型レーザクリーニング装置および実部材のき裂検査のための塗装膜除去への適用事例についてご紹介頂きました。各講演ともに活発な質疑討論がなされ、閉会の挨拶の後、参加者全員で集合写真を撮影し、本イブニングフォーラムは無事に終了となりました。その後の交流会におきましても若手の会メンバー間の親交を深めることができました。

最後に、今回のフォーラムは65名もの多くの方々にご参加頂き、大盛況の内に終わることが出来ました。講演を快くお引き受け下さいました4名の講師の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、ご参加者の皆様にも厚



写真1 フォーラム中の会場の様子

く御礼を申し上げます。また、会場の席数の都合によりご参加頂けなかった方々には心よりお詫び申し上げます。なお、溶接学会若手会員の会主催研究会・施設見学会については本年6月9日（金）に愛知産業株式会社にて開催されます。これについては、次号以降にて報告致します。

## 2. 第56回若手会員の会 運営委員会開催報告

4月20日（木）、平成29年度春季全国大会の開催に併せて、若手会員の会運営委員会を開催いたしました。新運営委員の承認や、平成28年度の活動報告、平成29年度の事業計画の審議を行いました。主な議事内容は以下の通りです。

日 時：平成29年4月20日（木） 12:00～13:00

場 所：学術総合センター 1階 特別会議室

出席者：委員長、副委員長ほか運営委員、計28名  
（委任14名）

### 2.1 新運営委員の紹介

藤井委員長より、8名の新運営委員の紹介がなされた。本間 裕太 氏（日本製鋼所）、久保 貴寛 氏（岩手県工業技術センター）、上月 渉平 氏（JFEスチール）、庄司 博人 氏（大阪大学）、鶴田 駿 氏（大阪大学）、山下 正太郎 氏（大阪大学）、三浦 拓也 氏（福井大学）、東 雄一 氏（鹿児島高専）

また、2名の委員の退任について報告がなされた。

瀬古 祐介 氏（東京ガス）、深田 慎太郎 氏（川崎重工業）

### 2.2 平成29年度事業計画について

門井委員より、グローバルネットワーク活動に関する報告がなされた。これまで主にEAST-WJに若手会員の会から参加者を派遣し、若手技術者、研究者の国際的なネットワーク形成に資する活動を目指してきたが、さらなる展開のために新しい活動を計画している。例えば、IIW年次大会内で開催されている若手技術者、研究者向けのプログラムであるIIW Young Professionals' EveningやIIW共催のYoung Welding Professionals' International Conferenceに若手会員の会から委員を派遣し、海外の若手技術者や研究者との交流を深め国際的



写真2 フォーラム終了後の集合写真

ネットワークを拡大することを検討する。

続いて、平成29年度の研究会見学会の開催予定について藤井委員長より報告がなされた。平成29年6月9日（金）に愛知産業において見学会研究会を開催する予定である。平成29年度後期の研究会見学会の開催については未定であるが、これまで実績のない支部（地域）での開催や、次年度以降の開催候補地も念頭に検討していく。また、運営委員会当日は29年度春季全国大会のイブニングフォーラムが開催される日であったため、小椋委員から、若手会員の会委員および学生に強く参加が促された。その甲斐もあり、同日のイブニングフォーラムには学生を含め多数の参加者があり盛況に実施された。

WELNET勉強会に関して小濱委員より報告がなされた。以前の勉強会よりもオープンで参加しやすい形式に変更し、平成28年11月10日（木）のダイヘン六甲事業所での研究会見学会の中で講演枠を設けた。講演者、参加者のいずれにも概ね好評で議論も盛り上がったため、今後もこの形式で勉強会を実施していく。また、若手技術者、研究者による研究SEEDS集の作成も計画しており、若手会員の会の活動を広く周知するために活用することを検討していく。

藤井委員長より、溶接学会若手会員の会として日本学術会議若手科学者ネットワークに参加することとなった旨報告がなされた。メーリングリストによる情報交換やワークショップへの参加を通じて、他学会や異なる学術分野との交流を図りながら溶接学会若手会員の会の活動をアピールしていく。また、溶接技術分野におけるキャリア教育および溶接分野の活性化につながるPRや啓蒙に関する活動として、高校生、高専生、大学低学年向けの出前講義を検討することとなった。

以上、若手会員の会では溶接・接合分野の活性化に結び付くような活動を多く実施することを目指しております。今後とも、一層のご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。